

## 平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月10日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東  
 コード番号 3668 URL http://colopl.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 功淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長 (氏名) 長谷部 潤 TEL 03(6721)7770  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績 (平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	27,266	—	7,367	—	7,671	—	4,881	—
28年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 4,875百万円 (—%) 28年9月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	39.01	38.08
28年9月期第2四半期	—	—

(注) 平成28年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年9月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	72,729	64,994	89.4
28年9月期	72,301	62,149	86.0

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 64,993百万円 28年9月期 62,148百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想 (平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	△35.1	11,000	△65.5	11,000	△64.8	7,500	△63.8	60.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	127,349,000株	28年9月期	126,305,000株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	1,776,609株	28年9月期	1,776,214株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	125,111,279株	28年9月期2Q	123,728,610株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成28年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の政権交代による世界経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動等の影響により先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの業界におきましては、株式会社矢野経済研究所の「スマホゲーム市場に関する調査（2016年）」によると、国内スマートフォンゲーム市場は平成29年度には前年度比101.6%の9,600億円に達し、安定成長を続けることが予想されております。また、The Goldman Sachs Group, Inc.の調査によると、VR（仮想現実：VirtualReality）のハードウェア及びソフトウェアの世界市場規模は、平成37年までに590億ドルに達すると予測されております。

当社グループにおきましては、スマートフォン向けの既存ゲームについてはユーザとのエンゲージメントを高めることを意識し、新規ゲームについてはその投入に向けて注力してまいりました。また、VRを具現化するHMD端末（頭部装着型表示端末）向けサービスへの注力も進めており、様々な開発実験を行ってまいりました。

売上の多くを占めるオンライン型ゲームアプリでは、前連結会計年度に配信を開始いたしました「ドラゴンプロジェクト」や「白猫テニス」が新たに収益寄与いたしました。また、当社グループの収益に大きく貢献している「クイズRPG魔法使いと黒猫のウィズ」や「白猫プロジェクト」といった既存ゲームに関しましては、TVCMやオンライン動画プラットフォームにおけるプロモーション、コラボカフェ等のリアルイベントを実施することでユーザのエンゲージメントを高めるサービス運用をしてまいりました。

HMD端末向けサービスでは、当第2四半期連結会計期間にPlayStation VR向けVRゲーム「STEEL COMBAT」「VR Tennis Online」、Oculus Rift向けVRゲーム「COLOPL VR GARAGE」の配信を開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は27,266,904千円、営業利益は7,367,036千円、経常利益は7,671,355千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,881,070千円となりました。

なお、当社グループにおける報告セグメントはモバイルサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は59,067,922千円となり、前連結会計年度末に比べ2,689,976千円減少いたしました。これは主に、法人税等及び配当金の支払等に伴い現金及び預金が減少したことによるものであります。

また、固定資産は13,661,328千円となり、前連結会計年度末に比べ3,117,852千円増加いたしました。これは主に、出資に伴う投資その他の資産の増加によるものであります。

以上の結果、総資産は72,729,251千円となり、前連結会計年度末に比べ427,876千円増加いたしました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,302,050千円となり、前連結会計年度末に比べ2,426,652千円減少いたしました。これは主に、法人税等の支払に伴い未払法人税等が減少したことによるものであります。

また、固定負債は432,727千円となり、前連結会計年度末に比べ9,300千円増加いたしました。これは主に、資産除去債務が増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は7,734,778千円となり、前連結会計年度末に比べ2,417,352千円減少いたしました。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は64,994,472千円となり、前連結会計年度末に比べ2,845,228千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,627,664千円減少し、49,929,182千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は2,642,415千円となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益7,321,721千円であり、主な支出要因は法人税等の支払による支出3,581,032千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は3,694,334千円となりました。主な支出要因は投資有価証券の取得による支出3,016,919千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は2,024,625千円となりました。主な支出要因は配当金の支払による支出2,110,582千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成28年11月9日公表の「平成28年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,556,846	49,929,182
売掛金	7,600,495	6,567,696
たな卸資産	271,101	229,697
その他	1,382,439	2,394,213
貸倒引当金	△52,984	△52,866
流動資産合計	61,757,898	59,067,922
固定資産		
有形固定資産	1,378,512	1,957,361
無形固定資産		
のれん	1,968,399	1,537,424
その他	75,499	62,705
無形固定資産合計	2,043,898	1,600,130
投資その他の資産	7,121,065	10,103,837
固定資産合計	10,543,476	13,661,328
資産合計	72,301,375	72,729,251
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	4,559,195	3,575,816
未払法人税等	3,776,381	2,569,485
その他	1,393,126	1,156,749
流動負債合計	9,728,703	7,302,050
固定負債		
資産除去債務	416,641	423,693
その他	6,786	9,034
固定負債合計	423,427	432,727
負債合計	10,152,131	7,734,778
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,384,952	6,428,444
資本剰余金	6,143,944	6,187,436
利益剰余金	54,261,682	57,025,764
自己株式	△4,642,861	△4,643,321
株主資本合計	62,147,717	64,998,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	743	△4,614
その他の包括利益累計額合計	743	△4,614
新株予約権	783	763
純資産合計	62,149,243	64,994,472
負債純資産合計	72,301,375	72,729,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	27,266,904
売上原価	14,744,577
売上総利益	12,522,326
販売費及び一般管理費	5,155,289
営業利益	7,367,036
営業外収益	
受取利息	6,025
有価証券利息	11,868
為替差益	423,401
雑収入	2,727
営業外収益合計	444,023
営業外費用	
投資有価証券評価損	120,697
雑損失	19,007
営業外費用合計	139,704
経常利益	7,671,355
特別損失	
関係会社株式評価損	349,633
特別損失合計	349,633
税金等調整前四半期純利益	7,321,721
法人税等	2,440,650
四半期純利益	4,881,070
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,881,070

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	4,881,070
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△5,357
その他の包括利益合計	△5,357
四半期包括利益	4,875,713
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	4,875,713



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	7,321,721
減価償却費	83,757
のれん償却額	430,974
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△118
為替差損益(△は益)	△452,153
関係会社株式評価損	349,633
投資有価証券評価損益(△は益)	120,697
売上債権の増減額(△は増加)	1,032,799
たな卸資産の増減額(△は増加)	41,404
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,529
未払金の増減額(△は減少)	△1,386,620
未払消費税等の増減額(△は減少)	△372,418
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△63,527
前受金の増減額(△は減少)	△31,516
前払費用の増減額(△は増加)	△852,676
その他	2,558
小計	6,209,985
利息及び配当金の受取額	13,462
法人税等の支払額	△3,581,032
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,642,415</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△242,813
投資有価証券の取得による支出	△3,016,919
投資有価証券の売却による収入	238,035
関係会社株式の取得による支出	△160,000
関係会社出資金の払込による支出	△500,000
その他	△12,637
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,694,334</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	86,985
配当金の支払額	△2,110,582
その他	△1,027
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,024,625</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	448,879
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,627,664
現金及び現金同等物の期首残高	52,556,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,929,182

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、コロブラネクスト4号ファンド投資事業組合を組成し、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループにおける報告セグメントはモバイルゲームサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。